総合支援学校の生徒の皆さんと
交流センター花壇の花植え

大歳交流センターだより

No.94　平成29年1月号
発行 大歳地域交流センター
TEL 922-4035　FAX 922-4036
（行政窓口）　TEL 922-2461
人　数　13,266　世帯数　6,181
平成 28 年 12 月 1 日現在

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、大歳地域交流センター主催講座をはじめ、各種事業や行事等にご協力を賜り、誠にありがとうございました。お陰様で、充実した事業活動を収めることができました。

本年も、昨年より増して、地域の皆様により親しまれ、愛される地域交流センターを目指し、職員一同さらに努力して参ります。これまで以上に皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

大歳地域交流センター　職員一同

「薬膳料理」講座　参加者募集！

「薬膳」とは、中国伝統医学の理論をベースにした毎日の美味しい料理のことを言います。料理を作ることや食べることにほんの少し薬膳のヒントを加えて、未病の生活を送ることを意識してみませんか？

日時：２月１９日（日）・２月２６日（日）
　　どちらも、１３時３０分～１６時３０分
場所：大歳地域交流センター
内容：阿東和牛のメイン料理、デトックススープ
参加費：５００円
持参物：エプロン
定員：各回先着１２名ずつ
　　※１月４日（水）から受付開始！
問い合わせ・申込：大歳地域交流センター
　　（ＴＥＬ　９２２－４０３５）
参加希望の方は、お早めにお申込みください。

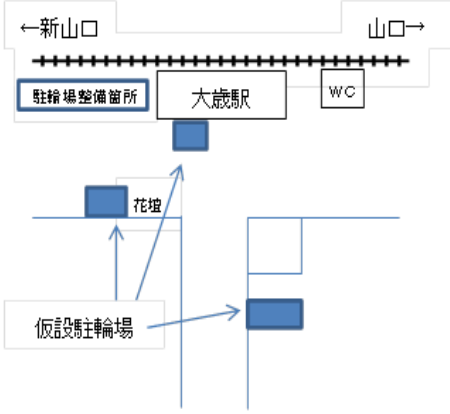
講師：岡　静風（おか　じょうふう）
○フラワーアーティスト・空間演出家
○薬膳料理研究家
○カフェ　レジスガーデン
　　（２０１５年矢原町にオープン）

大歳駅駐輪場整備工事のお知らせ

平成２９年１月中旬から３月末（予定）までの間、大歳駅駐輪場整備工事を実施します。工事期間中は、右図のとおり、仮設駐輪場（３箇所）へ駐輪してください。また、自転車、自動車の通行の際にはくれぐれも事故のないよう、十分な安全確認をお願いします。

ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ：市生活安全課　（ＴＥＬ　９３４－２９８６）



民生委員・児童委員の一斉改選について

今年、全国一斉に民生委員・児童委員が改選されました。大歳地区でも２１名が選出され、１２月１日から新たな３年間の任期が始まりました。

地区	氏名		地区	氏名
富田原、今井上、豊国マンション	宮田　俊昭		下矢原(東　１班、５班)	藤村　雄三
今井下	西本　國生		下矢原(西　２班、３班)	車田　政美
上湯田上、周布団地	藤川　京子		下湯田(１～２班、５班、７班)	野々村　壽代
上湯田下	廣沢　礼子		下湯田(３～４班、６班、８班)	坂本　正子
上矢原(若宮町、矢原町、周布町)、サーパス矢原	秋本　隆子		黒川市、岩富、サンコーポラス	山下　十三
上矢原(穂積町)、穂積県営住宅団地	岸本　堅介		坂東、西矢原	田中　あけみ
中矢原(北　１～６班、２１班)	岡藤　政子		勝井、鴨原	三浦　茂生
中矢原(中　７～１５班)	福井　敏江		高井住宅下、高井、三作	田中　幸子
中矢原(南　１６～２０班、２２～２３班)	石津　惠美子		和田、朝田、馬庭、河内、山口朝田ヒルズ	斉藤　雅子
矢原住宅、矢原第２住宅	恒冨　　衛			

主任児童委員	和田　芳江	安田　志乃扶

七草粥を食べましょう！

七草粥は、１年の無病息災を願うとともに、お正月のごちそうで疲れた胃腸を休めるという意味もあるそうです。少しだけ七草についてお勉強をして、七草を探しに行きます。
そして、七草粥をみんなで食べましょう！

日時：平成２９年１月７日（土）１０時３０分～１２時３０分
場所：大歳地域交流センター　１階　講座室
参加費：無料
問い合わせ：大歳地域交流センター　（ＴＥＬ　９２２－４０３５）
※事前の申し込みは不要です。どうぞお気軽にお越しください。

どんど焼きのお知らせ

年明けの恒例行事「どんど焼き」を開催します。
参加申込みは不要です。
多くの方の参加をお待ちしています。
日時：１月１５日（日）１０時～１５時
場所：朝田神社
参加費：無料
問い合わせ：大歳自治振興会事務局　（ＴＥＬ　９２０－１７００）
※輪飾りの金具等は燃えませんので、必ず外して持参してください。
※雨天の場合は、中止とします。
※車でお越しの場合は、地域交流センターの駐車場をご利用ください。

第１７回大歳地区分館対抗ソフトバレーボール大会結果報告

１１月２７日（日）に大歳小学校体育館で開催しました分館対抗ソフトバレーボール大会の結果をご報告します。出場された皆さんお疲れ様でした！

優勝：下矢原Ａ　　準優勝：中矢原Ａ

三位：中矢原Ｂ、岩富Ａ

Ｂ級の部 優勝：中矢原Ｃ

はつらつクラブ 大人の居場所

★大人も子どもも正月遊び！★

大人から子どもまでたくさんの方が集い、楽しく交流する場として、毎月第３土曜日に開催しています。

皆さんお誘い合わせのうえご参加ください。

日時：１月２１日(土)
　　１３時３０分～１５時３０分
場所：大歳地域交流センター　２階　講堂
内容：日本の伝統「詩吟・尺八」を聴こう！
　　百人一首、トランプ、かるたをして楽しもう！
　　☆ぜんざいもあるよ！

参加費：１００円
問い合わせ：吉野
　　（ＴＥＬ　９２２－５２８６）

大歳小学校からのお知らせ　大歳小学校地域参観日のご案内

平素から大歳小学校教育の推進につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

下記の日程で、『地域参観日』として本校の教育活動を地域・保護者の皆様に公開します。地域の皆さまにご参観いただき、ご意見をいただくことで、今後の学校教育の改善に取り組んでいきます。ご多用のこととは存じますが、ご都合のつかれる時間帯にご遠慮なくご参観くださいますようご案内します。

日　時：２月２日（木）１０時３５分～１３時５０分
日　程：　１０時３５分～１１時２０分　　授業参観（３校時）
　　１１時２５分～１２時１０分　　授業参観（４校時）
　　１２時１０分～１２時５０分　　給食参観
　　１２時５０分～１３時３５分　　昼休み参観
　　１３時３５分～１３時５０分　　掃除参観

その他：

（１）　自転車は、中校舎と南校舎の間のアスファルト部分においてください。

（２）　校内および学校周辺の施設（交流センターなど）には、駐車場はありません。
　　維新公園第１１駐車場（県立山口総合支援学校入口　８時３０分～１７時）をご利用ください。

（３）上履きは、各自ご持参ください。

【大歳地区１月の行事予定】

大歳地域交流センター閉館日
　※平成28年12月29日(木)～平成29年1月3日(火)
5 日(木)　燃やせないごみの日
7 日(土)　七草粥の会(10:30～12:00)
8 日(日)　山口市成人式(山口市民会館)
13 日(金)　ぶっくん来館日(15:20～16:00)
15 日(日)　大歳地区どんど焼き(朝田神社)
15 日(日)　第 11 回山口市駅伝競走大会
18 日(水)　びん･缶の日
19 日(木)　金属･小型家電製品の日
20 日(金)　パソコン相談(10:00～12:00)
21 日(土)　大人の居場所(13:30～15:30)
23 日(月)　古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
27 日(金)　ぶっくん来館日(15:20～16:00)
30 日(月)　古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
　※木曜日はプラ容器包装分別収集

大歳のエトセトラ　３７

兼重慎一の晩年

歴史というものが、史料を根拠にした物語とするなら、長州藩における藩政改革派－尊王壊夷派－討幕派－そして維新官僚という流れは、よく出来た維新の物語として流布してきました。かって矢原に住んでいた「沖の野村」と親しまれた野村靖も、この流れの中で出世した人でした。ただもう一人の矢原の住人であり、討幕派であった兼重慎一は、維新官僚への道を断り、自らが生きた時代の記録を後世に残そうと晩年を費やしたのです。

兼重慎一は廃藩置県後、厚狭の船木の区長（昔の代官に相当）になります。そこで彼は、厚狭毛利家の奥方であった勅子（ときこ）様を招聘し、「船木女児小学」という国内で三番目となる女児学校を作りました。これは後に、「徳基学舎」から「徳基高等女学校」となり、今日の「県立厚狭高等学校」の前身となるものでした。（ちなみに「徳基」とは勅子様のお名前にちなんで慎－が命名したものです。）僅かな期間でしたが、彼は、船木の歴史にとって、恩人として名を残すのです。

その後明治 11 年に、彼は毛利家史料の「編纂掛」を命じられます。そこには、明治 4 年に逝去された敬親公の御事蹟をまとめるという仕事だけでなく、明治 9 年に政府修史局から各大名家に維新に関する史料の提出命令が出されたということもありました。そこで、彼と、同じ頃採用された中村弼（たすく）が中心となり、『忠正公一代編年史』の編纂に着手します。それに一応の目処が付いた明治 16 年 2 月、「編輯用向」として彼らに上京命令が出されます。そしてこの時点で、山口にあった「編輯所」は東京に移転します。この年彼は、娘暗香を伴い矢原を離れるのです。

明治 21 年 5 月、宮内省から毛利家を含む大名四家へ、3 ケ年の期限で史料提出命令が出されます。そのため芝白金の「編輯所」は増築増員が行われ、明治 22 年に中原邦平らが新たに採用され、総員 20 名になります。そしてこの年、大名家たちが協力して編纂作業を進めるため、島津家の意向で「史談会」という組織が発足するのです。この組織は、旧大名家諸家の連合による維新史料調査団体であり、明治 25 年には 255 家を網羅するまでになりました。兼重慎一はこの組織の中で、毛利家の代表として長州藩の実情を多方面にわたって語り、多くの談話や記録を残していきます。明治 29 年老齢のため、委員を辞退し、部下の中原邦平が代行を務めます。そして明治 30 年 2 月 1 日東京芝白金猿町邸で、81 才の生涯を閉じるのです。

彼の談話や記録は、中原を通して『防長回天史』などの中に数多く生かされ、長州維新史の骨格を作っていったのです。文頭に挙げた「よく出来た維新の物語」もまた、兼重翁から始まると言っても過言ではないのです。彼は決して維新の英傑として名を残すことはありませんでした。ひたすら英傑を支え、補佐役として重責を担ってきたのです。それが自分の「分」だということを、よく知った人でした。その彼の晩年の仕事は、声高に何かを伝えるものではなく、時間をかけてじっくりと、今でも我々の物語として息づいているのです。

参考文献：長谷川埋木著『近世船木物語』昭和 15 年。大久保利謙著『日本近代史学の成立』（大久保利謙歴史著作集 7 巻）。広田暢久著「毛利編纂事業史」（『山口県文書館紀要 3 号』）

（大歳史談会　文責：　黒田五郎）

毛利編纂所跡地、現在毛利家文書館。『山口県文書館紀要第３号』から転載。

舟木女児小学・徳基学舎跡地碑（宇部市船木、元楠木町役場の前）、『厚狭高　百拾年のあゆみ』より転載。